

第 1 学年国語科学習指導案

児童 1年2組 男18名 女16名 計34名
指導者 小田 順子

分からないことや詳しく知りたいことを質問しながら、楽しく聞き合う学習活動の工夫

1 単元名 よくきいて あてよう (学習材名「わたしは、なんでしょう」光村1年下)

2 単元について

(1) 児童の実態

児童は、これまでに「すきなもの、おしえて」で、話の大事なことを落とさないようにしながら聞くことの学習をしてきた。また、「みんなに知らせたいこと」では、話題に沿って質問したり、感想を話したりする学習をした。これらの学習を通して、聞き取ったことを繰り返して確かめながら聞く力や、質問や感想を交えながら聞き合おうとする意識が育ってきている。

しかし、実際の対話の中では、相手の話の中によく分からないことがあっても、詳しく知ろうとしない児童も見られる。聞き取ったことを繰り返して確かめることができても、内容理解を伴ってなければただのおうむ返しに過ぎず、相手の思いを受けとめたことにはならない。分からないことを聞き直したり尋ねたりして、互いを理解し合う対話に近づけていきたい。

このことから、身近な事柄について相手の話の大事なことを落とさずに聞くとともに、分からないことや、詳しく知りたいことを質問しながら聞き合う力をつけていくことが大切であると考えられる。

(2) 主たる指導事項と学習材

本単元の主たる指導事項は、「互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと」である。この力を培うためには、「聞き取ったことを繰り返して確かめる」「話題に沿って知りたいことを質問する」力を育てていく必要がある。本単元では、「相手の話の大事なこと(特徴)を落とさずに聞き、もっと知りたいこと(特徴)を質問すること」が指導の中心である。

このような力を育てるために、学習材として「わたしは、なんでしょう」を用いる。身近にある物や好きな食べ物などをクイズにして聞き合うことは、1年生の児童にとって興味深く、楽しいことである。

この学習材を通して、児童は、話し手と聞き手の両方の立場に立ちながら、分からないことや詳しく知りたいことについて応答する学習をする。児童は、身近な物や好きな食べ物についてのクイズを出し合う活動の中で、クイズの答えを見つけようと、大きさや形、色などの特徴を落とさずに聞き取ろうとするであろう。そして、頭に浮かんだいくつかの物から答えを絞り込むために、まだ分かっていない特徴を質問しようとするであろう。さらに、質問によって答えに迫っていく過程や、相手とのやりとりの中で、質問の有用さと、応答が続いていく「対話の楽しさ」を感じることができると考える。

(3) 指導に当たって

指導に当たっては、次のように進めたい。

単元のみとおす段階では、教師が児童にクイズを出すことによって、「わたしは、なんでしょう」の学習に興味をもたせたい。また、自分の好きな食べ物についてクイズを作り、互いにクイズを出しながら聞き合う学習であることを知らせたい。単元の最後には、兄弟学級とクイズ大会を行うことを見通して、意欲を持って活動に臨ませたい。

ふかめる段階では、まず、選んだ食べ物の絵をカードに描かせ、色・形・大きさなど特徴をとらえさせたい。そして、その特徴の中からクイズを作っていくという問題の作り方を理解させたい。また、「クイズ」という活動の特性から相手意識を持つことにつなげ、分かりやすい問題の出し方や話し方などについて考えさせたい。対話では、1対1でクイズに答える活動を行う。その際、問題作りの経験を生かして、「特徴」に留意した聞き方をさせたい。ヒントによって思い浮かんだ答えに確信をもつために、さらに詳しい特徴について質問していくことは、話題にそって聞き合う楽しさや、質問によってより理解が深まる喜びを味わう活動になると考える。

まとめる段階では、兄弟学級と「わたしは、なんでしょう」クイズをすることで、聞き合う力の定着を図るとともに、対話を通して交流することの楽しさを味わわせたい。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・出題・質問・応答のやり取りをしてクイズを楽しむ。

(2) 話すこと・聞くこと

- ・分からないことや詳しく知りたいことを尋ねたり，それに答えたりすることができる。

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

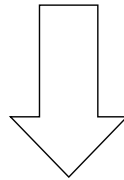
- ・言葉には，意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。

4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
①クイズに興味をもち，進んで質問をしたり，答えたりしようとしている。	①クイズの問題を落とさずに聞き，知りたいことを質問したり，質問に答えたりしている。 ②はっきりとした発音で相手に分かるように話している。	①言葉には，意味による語句のまとまりがあることを理解している。

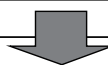
5 学習指導計画（5時間）

【関連する前の単元】「みんなにしらせたいこと」
○見つけたものの特徴について聞き合い，詳しく知りたいことを質問する。
○話したいことを決め，3文程度ではっきりと話す。



【スピーチ学習】
○身近なことや経験したことなどから話題を決めて話す。
○事柄の順序を考えながら話す。

時間	学習課題（内容）	学習活動と時間	評価規準（方法）
みとおす	○「わたしは，なんだろうクイズ」のやりかたを知ろう。	・教師が出すクイズに答え，クイズの仕方を理解する。 ・クイズをして聞き合う学習をすることを知る。 (1)	アー「わたしは，なんだろうクイズ」や，これからの学習に興味をもっている。（発言）
ふ	○もんだいをつくろう。	・問題の作り方を知り，問題を作る。 (1)	ウー①意味による語句のまとまりを考えながら問題を作ろうとしている。（観察・学習シート）
かめ	○もんだいをだすれんしゅうをしよう。	・クイズの出題に適した話し方を考えゆっくり，はっきりと問題を出す練習をする。 (1)	イー②はっきりとした発音で，相手に伝わるように話そうとしている。（観察）
る	○「わたしはなんだろうクイズ」をしよう。	・問題から大事なこと（特徴）を聞き取り，質問をしたり質問に答えたりする。 (1) 本時	イー友達好きなものを知るために，質問しながら聞き合っている。（発言・観察・学習シート）
まとめる	○兄弟学級と「わたしは，なんだろうクイズ」をしよう。	・兄弟学級と「わたしは，なんだろうクイズ」をし，質問をしながら聞き合う。 (1)	イーたくさんの友達とクイズをし，質問しながら聞き合っている。（発言・観察・学習シート）



【生かす単元】「おはなしをたのしもう」
・紹介するお話がよく分かるように，順序を考えて話す。
・友達が紹介するお話について，詳しく知りたいことを聞き返したり感想を話したりする。

